

## 発表者紹介

### ■研究発表■

#### 李 華雨 Li Huayu

(東京大学大学院人文社会系研究科 博士課程)

中国北京大学中国言語文学系卒業。京都大学文学研究科で修士課程学位を取得。日本学術振興会特別研究員 DC1。主に中世における日中文化交流、東アジア古典文献学を研究している。

#### 董 航 DONG Hang

(株式会社イノハープインターナショナル・ビジネスアーキビスト)

中国北京外国語大学卒業。成蹊大学大学院文学研究科博士前期課程を経て、お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科博士後期課程を単位取得退学。研究分野は近世思想史、東アジア文化交渉史。現在、近世日本社会における中国善書の影響を研究している。主要論文は「藤井懶斎の『大和為善録』執筆背景にあるもの—中国善書の受容を中心に—」(韓国日本文化學會『日本文化學報』86、2020年)、「藤井懶斎の婦道・孝道・善道における一貫性—『蔵笥百首』とその他の教訓書の相互関係を中心に—」(日本比較文化学会『比較文化研究』142、2021年)、「日中両国の中国善書に関する研究総説—成果と展望を中心に—」(日本比較文化学会『比較文化研究』143、2021年)。

#### 沐 海宇 MU Haiyu

(華東師範大学外国語学院 博士後期課程)

西南民族大学卒業。2020年四川外国語大学大学院修士学位を取得。研究分野は日本古典文学、特に江戸前期の漢文随筆。修士論文は、江戸初期の儒者堀孤山(1631-1695)における宋代筆記『鶴林玉露』の受容について執筆。主要論文は「『本朝鶴林玉露』の詩話における中国詩学思想の受容研究」(『名作欣賞(学術版)』15号、2019年5月(中国語))。

#### 解 放 XIE Fang

(吉林大学外国語学院 准教授)

2021年3月に東京外国語大学博士後期課程を修了。東京外国語大学非常勤講師を経て、2021年10月現職に至る。研究分野は日本近代文学。安部公房を主な研究対象としている。主要論文は「「留用」と「引揚げ」—加藤幸子『夢の壁』にみる少女の記憶」(『戦後日本の傷跡』臨川書店、2022年2月)。

**林 淑丹 LIN Shu-tan**

(文藻外語大学日本語学科 教授)

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士課程修了。専門分野は日本近現代文学、比較文学。著書に『小泉八雲・澁澤龍彦と『夜窓鬼談』—交響する幻想空間』(翰林書房、2019年)、『明治期日本における『虞初新志』の受容—『本朝虞初新誌』『日本虞初新志』『譚海』を例として』(高雄復文圖書出版社、2008年)、編著に『東アジアにおける知の交流—越境・記憶・共生』(台湾大学出版センター、2018年)がある。主要論文は『夜窓鬼談』『東斎諧』の幻妖世界』(『新しい漢字漢文教育』57、2013年)、「映画『一八九五』に表象された鷗外像」(『鷗外』93、2013年)、「小泉八雲『果心居士の話』論—物語の空間」(『解釈』58巻1・2、2012年)など。

**金子 英和 KANEKO Eiwa**

(国文学研究資料館 機関研究員)

早稲田大学第一文学部卒業。早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了。研究分野は中古・中世和歌、寺院文学。主要論文は「仁和寺と五十首歌—御室五十首と道助法親王家五十首を中心に—」(『早稲田大学大学院文学研究科紀要第三分冊』63、2018年3月)、「『北院御室御集』の成立時期—天王寺宮をめぐって—」(『中世文学』64、2019年6月)、「『御室五十首』の述懐歌—賢清・顕昭・禅性を中心に—」(『和歌文学研究』119、2019年12月)、「『出観集』の編者と編纂目的—八四六番歌を端緒として—」(『和歌文学研究』121、2020年12月)。

**FITTLER Áron フィットレル アーロン**

(早稲田大学高等研究所 講師)

ハンガリーのカーロリ・ガーシュパールカルビン派大学文学部日本専攻・ハンガリー文学語学専攻卒業。大阪大学大学院言語文化研究科で修士・博士学位を取得。大阪大学日本語日本文化教育センターの非常勤講師・特任助教、日本学術振興会外国人特別研究員を経て、現職に至る。専門分野は日本古典文学。特に仏教関係の和歌の表現研究と古典文学の翻訳に関する研究、西洋文学との比較研究を行っている。主著・主要論文は『更級日記』のハンガリー語訳注 *Szarasina napló – Egy XI. századi japán nemesasszony önéletírása* (「更級日記—ある11世紀の日本の貴族の女性の自叙伝—」、個人出版、2018年)、「平安時代の和歌と草木成仏説」(『国語国文』88(10)、2019年10月)、「掛詞の外国語訳の方法について—複数の掛詞・縁語を使用した二重文脈歌を中心に—」(『日本研究』60、2020年3月)。

**武石 悠霞 TAKEISHI Yuka**

(西安理工大学 講師)

大阪大学外国語学部で中国語学を専攻。コンピューターサイエンスによる詩歌生成研究、日中文学翻訳研究及び同時通訳、逐次通訳研究を行っている。主要論文は、WakaVT: a sequential variational transformer model for Waka generation (*Neural Processing Letters* 2021 共著)、「人工智能生成和歌的修辞手法分析」(『西安外国語大学学报』29(3)、2021 年、共著)、「基于現代日語訳文対《源氏物語》和歌漢訳的分析」(『青年文学家』12、2020 年)。

**金 中 JIN Zhong**

(中国西安交通大学外国語学院 教授、中日詩歌研究所 所長)

東京外国語大学博士課程修了。専門分野は古典和歌。主要論文は「『秋の夕暮』の歌の形成における古今集の役割—悲哀寂寥感の源泉を探って」(『東京外国語大学日本研究教育年報』20、2016 年)、「『西山夕陽』考—古今集 204 番歌の解釈をめぐって」(『東京外国語大学日本研究教育年報』22、2018 年)。主著は『漢詩創作原理』『現代漢詩評論』『日本詩歌翻訳論』など。日本の唱歌・童謡の日中対照版音楽CD『早春賦』を発行。

**川下 俊文 KAWASHITA Toshifumi**

(日本大学経済学部 非常勤講師)

2011 年東京大学教養学部卒業。2014 年東京大学大学院総合文化研究科比較文学比較文化コース修士課程修了。2022 年 3 月同コース博士課程単位取得退学。2019 年より日本大学経済学部非常勤講師。研究分野は近世・近代日本文学。特に、近世に確立した文学ジャンルとしての義太夫節浄瑠璃の、近代における変容を通じて、両時代間における大衆意識のギャップを捉えたいと考えている。主要論文は「戦争表象としての愁嘆場—素浄瑠璃『薫梅忠義魁』の成立」(『超域文化科学紀要』第 20 号、2016 年 2 月)。

**梁 蘊嫻 LIANG Yunhsien**

(元智大学応用外国語学科 准教授)

2010 年東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻比較文学比較文化コース博士課程修了。博士論文は「『江戸文学における『三国志演義』の受容』—「義」の概念と挿絵の世界を中心に—」。専門分野は江戸文学、比較文学比較文化、小説の挿絵など。主要論文は「呉服文織時代三国志の虚構と真実—都賀庭鐘の歴史観—」(『国語と国文学』94、2017 年 4 月)、「清水市次郎出版『絵本通俗三国志』の挿絵についての考察」(『国文学研究資料館会議録』42、2019 年)、「吉川英治『三国志』の底本調査とその利用様相」(高麗大学校日本研究センター編『跨境・日本語文学研究』12、2021 年 6 月)など。

## ■インフォメーション・セッション発表■

### 鈴木 紗江子 SUZUKI Saeko

(ブリティッシュコロンビア大学アジア研究学科 博士後期課程)

専門分野は日本近世文学、特に出版・印刷文化史。カナダ社会人文科学研究評議会 (SSHRC) の奨学金を得て、ジョシュア・モストウ教授の指導のもと、版元による女子用往来物に収録された知識の「文脈化」について研究。かつては、ワシントン大学をはじめ北米の大学では貴重書の司書として、出版社ではデータベースの制作者として勤務。これらの経験を研究活動に反映させるとともに、デジタル環境の活用とその問題点の顕在化を個人レベルで取り組んでいる。『日本古書通信』に「北米における日本の古書研究」を不定期連載中。

### ZABEREZHNAIA Olga ザベレジナヤ オリガ

(国立研究大学高等経済学院国際経済国際政治学部 東洋学部 上級講師)

モスクワ国立大学アジア・アフリカ諸国大学卒業。サンクトペテルブルグ国立大学東洋学部修士課程修了。モスクワ国立大学アジア・アフリカ諸国大学博士課程修了。博士論文のテーマは「白樺派の思想」。青山学院大学に交換留学。東京大学文学部美学芸術学科に研究生として留学。研究分野は日本近代文学、特に大正時代の文学思想、白樺派の文学。志賀直哉、芥川龍之介、宮沢賢治に関する論文をロシアの論文集に発表。最近は宮沢賢治の第四次元論や音楽思想について研究している。

### 王 盈文 WANG Ying-wen

(中華大学応用日本語学科 助理教授)

台湾政治大学卒業。筑波大学修士・博士課程修了。研究分野は日本近現代文学・文化。主要論文は「江戸川乱歩原作宝塚版「黒蜥蜴」論—戦後認識の差異と男性優位の演出に關して—」(『日本語日本文学』49、2020年7月)、「中島京子「小さいうち」論—戦前をめぐる記憶の断絶—」(『台湾日本語文学報』44、2018年12月)、「太宰治「誰も知らぬ」論—主人公の設定について—」(『政大日本研究』13、2016年1月)。

### 矢吹 文乃 YABUKI Ayano

(広島大学大学院文学研究科 博士後期課程)

研究分野は1960年代日本のアンダーグラウンド演劇。現在、寺山修司の演劇作品の再演について研究している。主要論文は「〈病い〉を読みかえる—寺山修司「身毒丸」の生成とアダプテーションに注目して—」(『表現技術研究』16、2021年3月)、「クィアな身体が挑発する—寺山修司原作・岸田理生脚本版「身毒丸」上演分析—」(『国文学攷』251、2021年12月)。

**FINK Victor** フィンク ウィクトル

(ハイデルベルク大学東アジア研究所 博士課程)

同志社大学、上海交通大学へ留学。博士論文は「詩的近代」の生成、大窪詩仏の漢詩における写実、抒情と個人性について。研究分野は日本の古典文学、特に漢詩文と書道。主要論文は「「和習」言説と江戸中期における詩風の革新」(*Brunron* 7 2020 (ドイツ語))。口頭発表は「和習言説と江戸中期における詩風の革新」(第44回国際日本文学研究集会、2021年4月)、「江戸文化論にみる時期区分」(第36回ドイツ日本史勉強会例会 (ドイツ語)、2021年6月)。



## 第45回国際日本文学研究集会

開催日：令和4年(2022年)5月14日(土)～5月15日(日)

会 場：オンライン (Zoom ミーティング及び YouTube ライブ配信)

主 催：大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国文学研究資料館

### 【プログラム一覧】

5月14日(土)

10:10～10:20 開会挨拶 渡部 泰明 (国文学研究資料館 館長)

総合司会 齋藤 真麻理 (国文学研究資料館 教授)

研究発表

第1セッション

10:20～10:50 日本中世における『無門関』の受容—『無門関』の抄物の編纂と成立を中心に  
李 華雨 (Li Huayu リ カウ／東京大学大学院人文社会系研究科 博士課程)

10:55～11:25 日本近世文学にみる中国善書の影響—仏教説話集『合類大因縁集』を例に一  
董 航 (DONG Hang トウ コウ／株式会社イノハーブインターナショナル・  
ビジネスアーキビスト)

11:30～12:00 堀孤山の生涯とその交遊  
沐 海宇 (Mu Haiyu モク カイウ／華東師範大学外国語学院 博士後期課程)

休憩 60 分 (12:00～13:00)

13:00～14:45 国文学研究資料館創立 50 周年記念講演会

講演 1 雲は美しいか ー日本語の美意識  
渡部 泰明 (ワタナベ ヤスアキ／国文学研究資料館 館長)

講演 2 『徒然草』を読む楽しみ  
林 望 (ハヤシ ノゾム／作家・国文学者)

休憩 35 分 (14:45～15:20)

第2セッション

15:20～15:50 安部公房初期作品にみる帝国軍人イメージの変遷  
解 放 (XIE Fang カイ ホウ／吉林大学外国語学院 准教授)

15:55～16:25 イシグロ『上海の伯爵夫人』における日本人像  
林 淑丹 (LIN Shu-tan リン シュクタン／文藻外語大学日本語学科 教授)



5月15日(日) 総合司会 ダヴァン ディディエ(国文学研究資料館 准教授)

### 第3セッション

10:20～10:50 京都市歴史資料館寄託、賀茂季鷹書写『定家卿五十首詠草』の資料価値  
金子 英和(カネコ エイワ/国文学研究資料館 機関研究員)

10:55～11:25 同音異義表現の外国語訳についての検討と実践  
—「あき(秋・飽き)」と「かる(枯る・離る)」を例に—  
FITTLER Áron(フィットレル アーロン/早稲田大学高等研究所 講師)

11:30～12:00 AI 和歌の文学的特徴分析  
—Dice 係数による類似和歌検索方法の導入を合わせて  
武石 悠霞(タケイシ ユウカ/西安理工大学 講師)  
金 中(JIN Zhong キン チュウ/中国西安交通大学外国語学院 教授)

休憩 60 分(12:00～13:00)

### 第4セッション

13:00～13:30 明治期戦争物浄瑠璃のリアリティー時代物の作品構造に対する考察—  
川下 俊文(カワシタ トシフミ/日本大学経済学部 非常勤講師)

13:35～14:05 久保天随『新訳演義三国志』—文化翻訳問題をめぐって  
梁 蘊嫻(LIANG Yunhsien リョウ ウンカン/元智大学応用外国語学科 准教授)

14:10～14:40 インフォメーション・セッション Zoom 上の内容紹介

- ・明治における喜遊物語の誕生と分化：テキストの「文脈化」の一例  
鈴木 紗江子(スズキ サエコ/ブリティッシュコロンビア大学アジア研究学科 博士後期課程)
- ・宮沢賢治の詩における四次空間の思想をめぐって  
ZABEREZHNAIA Olga(ザベレジナヤ オリガ/国立研究大学高等経済学院  
国際経済国際政治学部 東洋学部 上級講師)
- ・角野栄子『トンネルの森 1945』論—戦時下の子どもを取り巻く状況—  
王 盈文(WANG Ying-Wen オウ エイブン/中華大学応用日本語学科 助理教授)
- ・アダプテーションと〈文化の盗用〉  
矢吹 文乃(ヤブキ アヤノ/広島大学大学院文学研究科 博士後期課程)
- ・近世詩人伝記と作品の小型データベースを使った可視化ツール  
FINK Victor(フィンク ウィクトル/ハイデルベルク大学東アジア研究所 博士課程)

14:40～14:50 国文学研究資料館の活動紹介

14:50～ 閉会挨拶